

# 2021年2月7日第1主日

Chofu Christ Church

## 今週の聖句

《しもべ聴く、お話しください》  
『しもべは聞きます。  
主よ、お話しください。』  
Iサムエル 3章9節

## 礼拝式次第

注) 賛美の最後の頌栄以外のアーメンは省く

前奏		
頌栄	新聖歌 60	起立
使徒信条	司会者朗読	起立
主の祈り	司会者朗読	起立
開会祈禱		
賛美	新聖歌 21	
交読	省略	
今月の賛美	省略	
今週の聖句	省略	

聖書 Iサムエル3:1-14(p385)  
説教 「僕は聴くお話し下さい」  
園 謙慈 牧師

一斉祈禱		
献金	新聖歌190	
感謝祈禱		
頌栄	新聖歌 63	起立
祝禱		起立
後奏		起立

## 報告

### ●来週のメッセージ

- 【聖書】 Iサムエル4:19-22(p388)
- 【主題】 「敗北から学ぶこと」
- 【説教】 園 謙慈 牧師
- 【新聖歌】 22 459

- 本日の礼拝後の予定
  -
- 今週の予定
  - ◎聖書通読 8日(月)ー14日(日)  
ヨシュア記13-19章
  - 祈禱会 11日(木) 休会
- 2/14日(日)の予定
  - 主日祈禱 — 賛美タイム —
  - 主日礼拝式[自主礼拝] 11:00  
～録音のため～

## 礼拝式説教要約 【神と人々から愛される】 サムエル記上2:18~26

ハンナは男児を授かった経験を通して神の力を目の当たりにした。それで、ハンナは神をたたえた(1-10節)。大自然に圧倒される経験、言葉を失う体験、現代人はそれを失っている。成功者の多くは横柄になって身を滅ぼすが、ハンナは一層謙虚になり、神をたたえた。比類なき神、圧倒的な存在、真の主権者、全能者、真の神の前で、心からひれ伏し、圧倒され、言葉を失い、神を心底から礼拝しようではないか。

祭司エリの二人の息子たちホフニとピネハスは神を無視した。彼らは、神への生贄の肉のうち一番おいしいところを腕ずくで奪い、性的な逸脱行為を平気で言い、親の叱責を無視した。それで「彼らを殺すことが主のみこころ」(25節)だと主は厳しい最終結論を出された。

ホフニとピネハスの問題点四つ⇒①我慢ができず欲望のままに行動する。②他者を力づくでコントロールする。③神を無視し、親を尊敬しない。④ごめんなさいと言えない。赤ちゃんや幼児は自分を中心に世界が回っていると考え、親や周囲の者を泣き声や笑顔でコントロールする。エリの息子たちの内面は幼児で、心の成長が止まっていた。祭司エリは教育に失敗しただけでなく、大人になった息子たちへの警告と処罰を先延ばしにした。それで主は、「あなたは、わたし

よりも自分の息子たちを重んじ」(29節)と叱責され、アロンの家系の断絶という厳しい処罰を言い渡された(30-34節)。

※ “ホフニとピネハス度” 自己チェック⇒□最後は自分の主張が必ず通ると思っている。□周囲の人を自分の思い通りに動かしたいと思っている。□いつもイライラして、身近な人があなたの顔を気にしている時がある。□悪いのは自分ではなく自分以外の人間だと考える [1つ以上…滅亡の危険信号]。

サムエルが健全に育った秘訣⇒「主の前に、主の許で仕えた」という要素である。仕える生活は、わがままの対局にある生き方で、相手への尊敬と従順、そして自己管理、忍耐、創造力を養うものである。

◎神の御前で謙虚に生き、神と人に積極的に仕える人になれるよう育てよう。これが教育の目標。主と隣人を愛する者にならせていただこう。